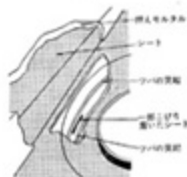


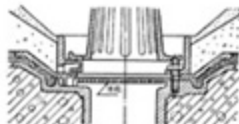


ドレン蓋のむき出しの取付工事例

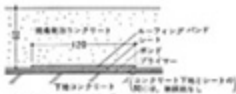
(a)



(b)



(c)



(注) ムーフンクアパンド

(d)



(e)

目5-1 シート防水の漏水について

屋上シート防水が漏水、ムーフドレン回り、防水層とドレンのツバとの接合が密着して、そこから水が漏った。

(a) 漏水の原因

漏水の原因として考えられることは、(a)～(c)参照

① シートと切貼りシートとはよく接着されていたが、切貼りシートとドレンの蓋とが完全に接着されていなかった。とくに本工事の場合はアスファルト防水用のドレンを使っており、ドレン回りも寸法的に余裕がなく無理をしていた。

② 貼付じまいのシームが不完全。

③ 切貼りシートの可塑性、施工性が不十分であった。この3つが主因で、不完全だったシームのところから簡単に水が入り、シートの裏にその水がまわって漏水した。

(b) 施工上の注意

① 防水施工が自由にできる寸法やディテールがほしい。寸法的な余裕がないために、狭いところでシートを何度も曲げることになり、その曲げた箇所、継ぎでシートが引っ張られ、シートが下地から浮いたりシート自体に局部的な“しわ”が寄ってしまう。

② シート防水に従来のアスファルト防水用のドレンを使う傾向があるが、シート防水用のドレンを使うことが望ましい。

例えば(c)のムーフドレンのツバの突起はシート防水には有害無益。

目5-2 某有名建物の屋上シート防水の漏水

防水シートの保護層として現場発泡コンクリートを使用した。これの収縮量が大きく、かつシートとの密着が強いために生じた現象であり、防水施工における盲点である。

1. 漏水発生状況

(a) 防水シートの上に保護層として発泡コンクリートを打設した屋上平準において、部分的にジョイントテープが剥離し、漏水した。発泡コンクリートは(b)のように